

京都大学人文科学研究所准教授

藤原辰史氏を囲んで

お花見と  
講演と  
歓談の会



開催日：2018年

5月24日(木) 14:00～

\* 14:00～16:00 アゴラ森のお花見と自由にお話を

\* 16:15～20:00 講演と食事しながらの歓談

参加者は参加費 1,500円 夕食(16時15分から)の一品を持ち寄ってください

定員 30名/参加希望の方は事前に連絡をお願いします。(Tel: 0537-27-1428)

mail: agoraart@thn.ne.jp

**Agora 子ども美術工場**

〒436-0008 静岡県掛川市千羽 1679 ☎0537-27-1428

HP: <http://web.thn.jp/agora>

主催アゴラ子ども美術工場/共催“KAMEの翼”プロジェクト



分解の概念

『身体  
の軸  
を流れる  
管の液』

ドイツ・満州・水俣 / 1924S

ローマの人々とアウシユグウィッツそして優生思想から種子の支配ー

# 伝え、つづぐ

藤原辰史氏を囲んで  
お花見と講演と歓談の会

開催日:2018年5月24日(木)

\*14:00~16:00 アゴラ森のお花見と自由にお話を  
\*16:15~20:00 講演と食事しながらの歓談

ドイツ-満州-水俣/1924~

## 分解の概念 『身体の軸を流れる管の液』

### —ロマの人々とアウシュヴィッツそして優生思想から種子の支配—

この冬、藤原氏はドイツ最古の大学、ハイデルベルク大学で3ヶ月の講座を持った。大学では“食と農の近代史”をテーマに英語でのゼミを行った。ハイデルベルクには、国を持たず移動して生きてきたロマの人々を伝える博物館があり、氏も通った。

そしてポーランドアウシュヴィッツへ、、、。

藤原辰史の大事な概念“分解”が、ドイツ-満州-水俣を駆け抜けた冬だった。

時代と向き合い、新たな概念を生む藤原辰史氏の“そうぞう”。

—アゴラ森にこの先を描く、清々しい風が流れます。

消された歴史。隠された歴史。彼の視点の移動と多視点の把握。

ぼかされた時代がアカラサマに。

氏のピントは合う。

●アゴラ子ども美術工場 波垂秀夫



「これまでの農業史は、主として人間と人間の権力関係を描いてきた。本研究は、人間、集団、環境という三つの側面の物質・貨幣交換の営みから農業史を再構築する試みである。近年発展してきた環境史の手法をとりいれつつ、とりわけ、食をめぐるさまざまな要素を同じ次元で論じることができるような分析枠組みを考えたい。たとえば、台所と農場(空間)、冷蔵庫と農業機械(テクノロジー)、洗剤と農薬(化学)、戦時と平時(時代)というような一見異なる分野の要素を、同じ平面のうえで配置しなおしたい。この作業は、飢餓、貧困、食の劣化、食品偽装、農民の自殺の増加など、食の消費と生産をめぐる現在のさまざまな問題をとらえなおすヒントとなるだろう。」—(藤原氏 記)

### 藤原 辰史(ふじはら たつし)

北海道旭川市生まれ

京都大学総合人間学部卒業 現在、京都大学人文科学研究所准教授

自由と平和のための京大有志の会、歴史学の立場から「農業」や「食」を考へ飢餓や戦争と平和への提言等の活動をしている。

#### 主な著作

『カブラの冬』人文書院、『ナチス・ドイツの有機農業』柏書房 『稲の大東亜共栄圏』吉川弘文館  
『ナチスのキッチン』共和国 『食を考へること』共和国 『戦争と農業』集英社インターナショナル新書  
『トラクターの世界史—人類の歴史を変えた「鉄の馬」』中公新書

現代思想に「肩拾いのマリア1,2,3」「人間の耐久性-チャベックから考える上、中、下1,2」

生態学の「分解者」概念について(1)(2)(3)(4)の論文掲載 現代思想

総特集:石牟礼道子 対談-栗原彬×藤原辰史「化生の音を聴く」現代思想



アゴラ子ども美術工場全景



-アゴラ森の5月は、草花が芽吹き、コテマリ、オオテマリからはじまり、今はシモツケ、シラン、ツツジ、野の花アザミ、シロツメグサ... 庭にはホワイトガーデンのようにハルジオンの花。ラベンダー、いろんな種類のセージ、バラ、ダイコン草など..つぎつぎに草花が咲き、森は生き生きとしています。例年と違い10日早い花模様。

今年も京都大学人文科学研究所准教授の藤原辰史氏をお招きしました。お花見し、食事しながら、社会を考え、思い語り合ひましょう-

### 会場:アゴラ子ども美術工場

〒436-0008 静岡県掛川市千羽1679 ☎:0537-27-1428

mail: agoraart@thn.ne.jp

参加者は参加費1,500円 夕食(16時15分から)の一品を持ち寄ってください。

定員30名/参加希望の方は事前に連絡をお願いします。(Tel:0537-27-1428)

Agora子ども美術工場HP <http://web.thn.jp/agora>

主催アゴラ子ども美術工場/共催“KAMEの翼”プロジェクト

